

**11/10(土) 旭志交通安全母の会ミニバレー大会**

旭志地区の交通安全母の会による親善ミニバレーボール大会が、旭志体育館で行われました。23チーム・約120人が参加し、2時間にわたって熱戦が繰り広げられました。試合は、日ごろからミニバレーを行っている参加者もそうでない参加者も一緒になって、和気あいあいながらも真剣に行われました。

また、旭志交通安全母の会では、この他にも年3回の道路清掃や交通安全を啓発するキャンペーンなど、年間を通して地域の交通事故の撲滅を目指し、活動を行っています。大会の上位の結果は次のとおりです。

優勝 伊萩B、準優勝 伊萩A、3位 岩本A、3位 伊坂B



旭志体育館であった親善ミニバレーボール大会

**11/10(土)**

**第3回泗水支部子ども会大会  
～田島子ども会が低学年の部と高学年の部を連覇!～**

菊池市子ども会泗水支部の子ども会大会(キックベースボール競技)が、泗水グラウンドであり、高学年の部に14チーム、低学年の部に8チームが参加し、総勢204人の子どもたちが熱戦を繰り広げました。

地域の皆さんの熱い声援を受け、子どもたちは元気に楽しくプレーしました。また、田島子ども会が高学年、低学年でダブル優勝し、昨年度に引き続き連覇を達成しました。上位の結果は次のとおりです。

**高学年の部** 優勝 チームドラゴン(田島子ども会)、

2位 桜山1.2.3.5.9区子ども会、3位 三万田子ども会、

3位 富出分子ども会

**低学年の部** 優勝 チャレンジモンスターズ(田島子ども会)、2位

田島キッズ(田島子ども会)、3位 にこにこ2年生(田島子ども会)、

3位 富出分子ども会

高学年の部で優勝したチームドラゴン(上)と低学年の部で優勝したチャレンジモンスターズ(下)



**11/11(日) 第33回熊日学童オリンピック  
空手道競技大会**

熊日学童オリンピック空手道競技大会が、芦北町民総合センターであり、県内各地から選手が参加し熱戦が繰り広げられました。

拓魂塾は昨年まで5連覇中で、プレッシャーの中毎日の練習を基本中心に行ない団体形優勝・団体組手3位となり、総合優勝6連覇を拓魂塾Aが達成しました。結果は次のとおりです。(敬称略)

**男子の部** 団体形優勝・団体組手3位・総合優勝(6連覇) 拓魂塾A(出口誠也・岩永祐貴・角田耕一)、団体形3位 拓魂塾B(益崎誠・城栄太郎・川端竜平)、

**女子の部** 団体形3位・団体組手ベスト8 拓魂塾(田代麻依・出口琴美・角田祐里子)



優秀な成績を収めた選手たち

**11/11(日) 平成19年度第10回熊本県  
少年柔道「形」大会**

熊本県少年柔道「形」大会が玉名市武道館であり、「投げの形」、「柔の形」に分かれ熊本県下50チーム100人が参加し、熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおりです。(敬称略)

**柔の形の部** 優勝(2連覇・10組参加)

取り 後藤奈那子 受け 田口鈴鹿

**6年生投げの形の部** 5位(17組参加)

取り 白木雅博 受け 上田竜聖、

取り 上田晃暉 受け 中村将也



柔の形を披露する、受けの田口さん(上)と取りの後藤さん(下)

**10/1(月)～11/30(金)**

**鞠智城国営公園化推進キャンペーン2007**

歴史的にも貴重な史跡である鞠智城跡を、今まで以上に多くの人にとってもらおうと「鞠智城国営公園化推進キャンペーン2007」と題し、様々な催物が開催されました。

●鞠智城の国営公園化に向けた「日韓シンポジウム」

11月10日(土) 菊池市文化会館で、「鞠智城」の国営公園化を目指そうと菊池市国営鞠智城歴史公園設置促進期成会(会長・福村三男市長)(以下「菊池市期成会」と言います)主催で、日韓シンポジウムが開催されました。

シンポジウムでは、まず初めに「古代鞠智城から中世菊池城へ」と題し、熊本県立装飾古墳館の大田幸博館長による基調講演が行われ、「7世紀後半、国家存亡の危機に備えて築かれた城跡が地元にあることを誇りに思い、国営公園化に向けて市民が一丸となって取り組んでほしい」と話されました。

パネルディスカッションでは、パネリストとして韓国側から駐福岡大韓民国総領事の李忠浩(イ・チュンホ)教育領事、佐賀県立名護屋城博物館の安熙敬(アン・ヒギョン)国際交流員を迎え、菊池市側から高山敏朗元教育長、「きくちおはなしのもり」の原保奈美代表が参加し、それぞれの立場から鞠智城に対する思いを語りました。

総括では、菊池市期成会の福村会長が「鞠智城は古代日本の宝であり東アジアの宝です。この重要史跡をより多くの人にとってもらい、利用してもらうためには国営公園化が最も有効です。このシンポジウムを通して、多くの方に鞠智城を理解してもらい、韓国の皆さんとともに国営化を目指しましょう」と決意を述べました。

また、アトラクションでは、郷土芸能の永翔太鼓(泗水町永)や菊池市少年少女合唱団の歌が披露され、最後に行われたオカリナ演奏では、古代ロマンを偲ばせるゆったりとしたメロディーに来場者は魅了されました。

大田館長による「古代鞠智城から中世菊池城へ」と題した基調講演



大田館長による「古代鞠智城から中世菊池城へ」と題した基調講演



「古代より21世紀、受け継がれる菊池と韓国」と題したパネルディスカッション

●皇太子さまご来訪

阿蘇市で開催された第31回全国育樹祭にご出席された皇太子さまは、県内のご視察途中でご休憩のため、鞠智城の温故創生館を訪問されました。あいにくの雨の中、皇太子さまをお迎えしようとたくさんの市民が、沿道で傘を片手に日の丸の小旗を振りながら歓迎しました。

●冬柴国交大臣も鞠智城視察

12月1日(土) 冬柴鉄三国土交通大臣が国営公園化を進めている鞠智城を視察されました。大田館長より鞠智城の歴史的価値の説明があり、熊本県や菊池市・山鹿市の期成会を代表して、熊本県の安田宏正副知事が国営公園化の要望書を提出しました。冬柴国交大臣は「皆さんの熱意に敬意を表します」と述べられ、調査費の補助を検討するなど前向きな姿勢を示されました。

●鞠智城フォーラム in 八千代座

隣の山鹿市でも、国営公園化に向け様々な催しが行われました。11月1日(木)、「逆説の日本史」などの著者で知られる作家の井沢元彦さんの講演会が山鹿市の八千代座で開催されました。「地元に住んでいる人は、その土地にあるものの価値に気付かない。現在残っている日本の古代山城の中でも鞠智城は全国に誇れる遺跡である」と、鞠智城の歴史的価値の大きさを訴えられました。

●鞠智城ウォークラリー

山鹿市、菊池市の共同事業として古代米の収穫体験も行われました。10月28日(日)、秋晴れの下、鞠智城ウォークラリー大会が開催され、参加者は広々とした城内を思い思いのペースで歩きました。途中のチェックポイントではクイズや短歌を作ったり、古代米の収穫体験が行われ、古代ロマンに思いを偲ばせていました。



温故創生館前で期成会の歓迎を受ける冬柴国交大臣



古代米の収穫体験